

福島県立博物館令和6年度テーマ展

蒲生氏郷と 会津の茶陶



千少庵画像 表千家不審菴蔵



蒲生氏郷像 西光寺蔵・当館寄託
(国指定重要文化財)

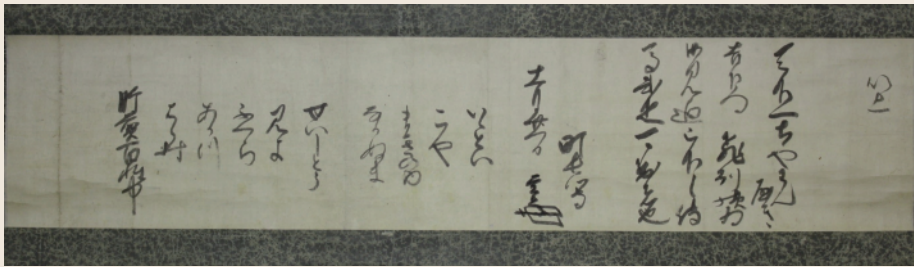
令和6年

10月1日(火) → 10月31日(木)

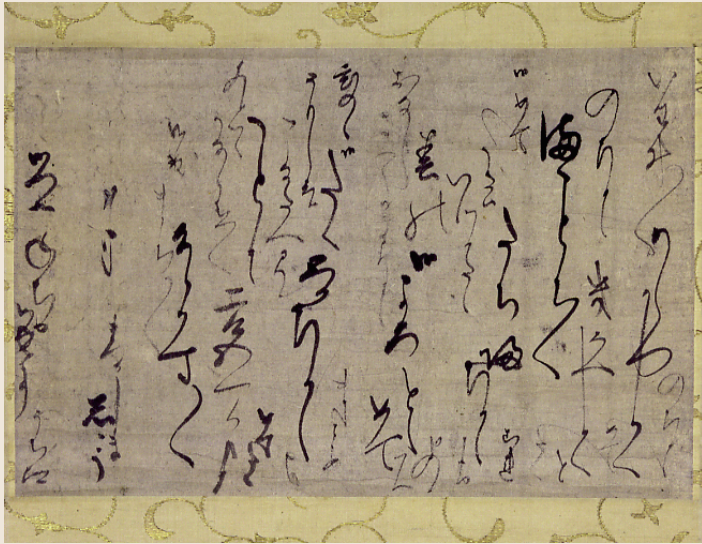
- 会場 福島県立博物館分野別展示室「歴史・美術」
開館時間 9時30分～17時（最終入館は16時30分）
観覧料 一般・大学生280円（20名以上の団体は220円）
高校生以下無料 常設展観覧料で御覧いただけます
休館日 毎週月曜日
※10月14日（月祝）は開館、翌15日（火）は休館
主催 福島県立博物館 一般財団法人不審菴
協力 一般社団法人表千家同門会 公益財団法人楽美術館

豊臣秀吉による奥羽仕置によって会津を治めることになった蒲生氏郷。本展では文武の才を兼ね備えた大名としての姿と会津時代の事績をご紹介します。氏郷は千利休に茶の湯を学び「利休七哲」の筆頭にあげられる茶人でもありました。利休切腹後、その養子で娘婿でもあった千少庵は氏郷のもとに身を寄せました。その後、少庵は徳川家康や氏郷の尽力もあって赦され京に戻り千家の再興を果たします。本展では表千家不審菴の格別のご協力により、千少庵の肖像画や、「天下一」の称号をあたえられた千家ゆかりの樂家二代常慶が蒲生家との縁で会津に下向したことがわかる文書などを特別展示します。

あわせて、氏郷以降、歴代藩主の統治下で整備されてゆく若松城下で江戸時代前期より会津藩の奨励を受け藩窯として発展した会津本郷の茶陶もご覧いただきます。



1



2



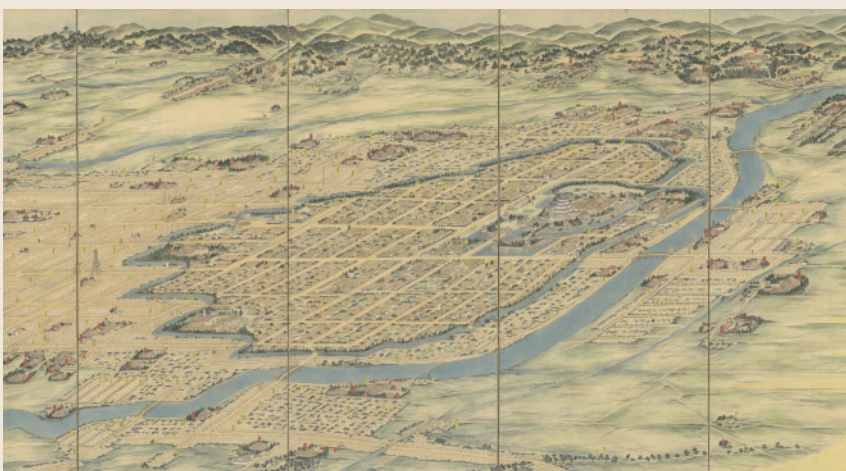
3



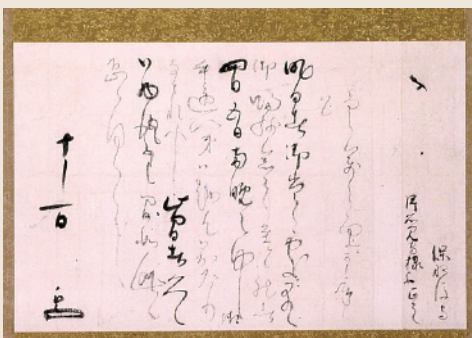
4



5



6



7

- 1 町野長門守伝符状 楽美術館蔵
桃山～江戸時代（16～17世紀）
- 2 蒲生氏郷書状 御つぼね宛 当館蔵 桃山時代（16世紀）
- 3 会津本郷焼灰釉茶碗 銘 会津川 当館蔵
江戸時代（17世紀）
- 4 会津本郷焼灰釉茶碗 銘 志ら菊 当館蔵
江戸時代（17世紀）
- 5 会津本郷焼灰釉水指 個人蔵 江戸時代（17世紀）
- 6 若松城下絵図屏風（部分） 当館蔵 江戸時代（19世紀）
- 7 保科正之書状 片桐石州宛 当館蔵 江戸時代（17世紀）

福島県立博物館

お問い合わせ

TEL 0242-28-6000 FAX 0242-28-5986

〒965-0807 福島県会津若松市城東町 1-25

HP <https://general-museum.fcs.ed.jp>

Email general-museum.fcs.ed.jp